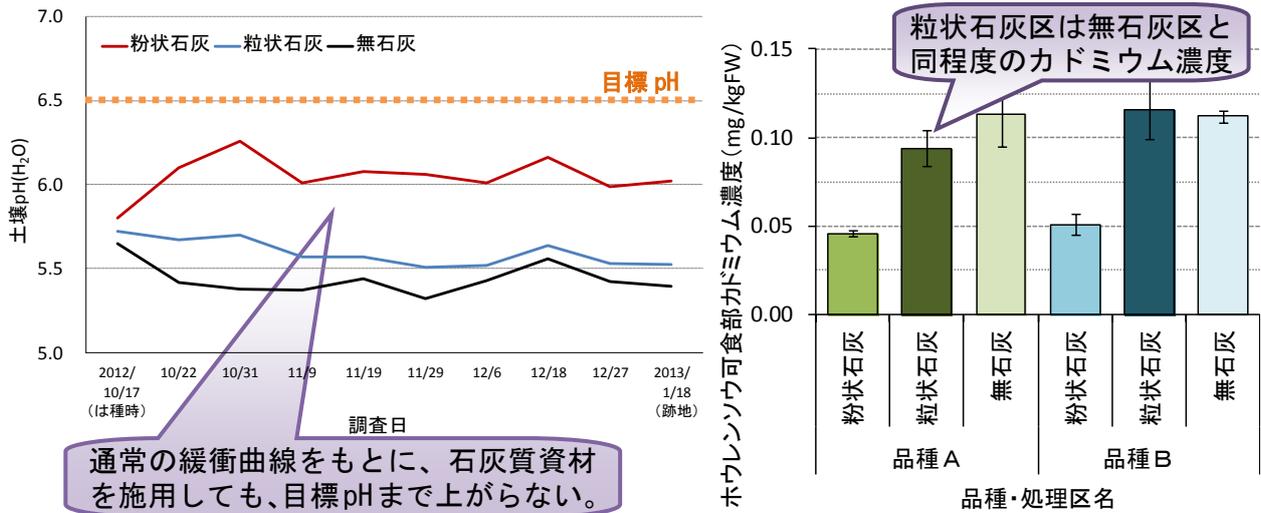


ホウレンソウのカドミウム吸収を抑制する技術

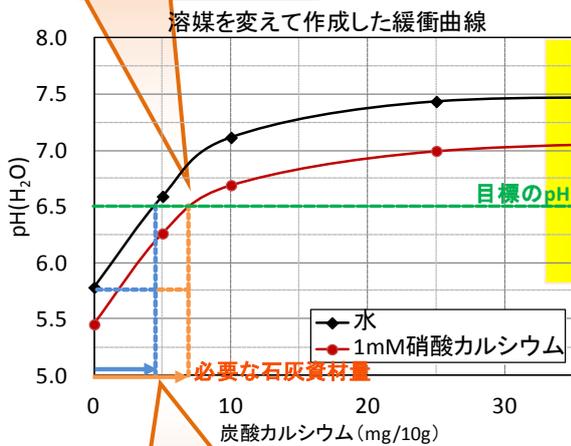
食品中のカドミウム濃度の国際基準に合わせて、国内でも、野菜の基準値策定が検討されています。ホウレンソウのカドミウム濃度が高くなりやすいほ場は、土壌 pH が低く、石灰質資材を施用しても pH が上昇しづらい土壤であることがわかりました。

このような土壤で pH を目標値（ここでは 6.5）に矯正するには、実ほ場の土壤溶液に近い条件となるよう、溶媒を硝酸カルシウム溶液に変えて緩衝曲線を作成し、算出した量の石灰質資材を施用することが有効です。また、粒状石灰資材を用いる場合は、は種 1 か月前に施用すると効果が早く出ます。



対策技術

実ほ場の条件に近づけるため、溶媒を硝酸カルシウム溶液に変える。



目標 pH に上げるために必要な石灰質資材の量が増える。

